

大阪 高槻ラウンド報告書



令和6年9月7日（土）ハイブリッド方式による「高槻ラウンド」を開催しました。今回は、関西大学高槻ミュージックキャンパスを会場に開催しました。会場には、対面で21名、ZOOMで9名の、合計30名の方に参加いただくことができました。会場を提供いただきました関西大学中等部・高等部の校長先生や保健体育科の先生方には、準備から片付けまで、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

1. 体育科・保健体育科における年間指導計画の考え方

中京大学の後藤先生からは、保健の授業を例に挙げて、実際に学生が作成したワークシートをもとに、評価をどのように考えるのか、お話をいただきました。ワークシートの発問を充実させることで、生徒の具体的な姿を想定し、根拠に基づいた評価を行うことができることを例を示しながらご説明いただきました。最後に、後藤先生から「評価とは、生徒の学びをチェックするだけが目的なのではなく、フィードバックすることに意義がある」、「子どもに声掛けしたことをメモして評価に生かしましょう」と締めくくっていただきました。



2. ワークショップ「3つの資質・能力をバランスよく育成するための単元構造図づくり」

日本女子体育大学の高橋先生から学習指導要領に基づいた指導と評価の計画について、単元構造図作成の考え方をお話いただきました。

そのあと、各グループに分かれて、ネット型（バレーボール）の単元構造図づくりを行いました。今回は、小・中・高それぞれの校種の先生方にご参加いただいたこともあり、小学6年・中学1年・中学3年のグループに分かれて作成いただきました。作成する中で、共生の思考力、判断力、表現力等と共生の態度の指導を入れて作成することを条件にしました。時間内に完成することが難しかったグループもありましたが、各グループが作成いただいた単元構造図から「共生」の指導の系統性を見ることもできました。



3. まとめ

最後に、愛媛大学の日野先生にまとめをしていただきました。授業の本質、領域の本質を考える一つの例として、「おもしろさから教える」ための「レジバレーボール」（新聞紙でボールを作る）の実践をお話いただきました。実際の動画を提示いただいたこともあり、参加の先生方からは、「授業でやってみたい！」という声も多く聞かれました。突然の無茶ぶりにも関わらず、日野先生、貴重な実践例とお話をありがとうございました。



毎年高槻ラウンドへ参加して下さる先生方、今回初めて参加していただいた先生方、みなさまいつもありがとうございます。また来年度もお会いできればうれしいです。

（文責：岩佐知美）